

アクセス サーバでの WINS、DNS、および DHCP の設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[関連製品](#)

[表記法](#)

[背景理論](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[コマンドの概要](#)

[確認](#)

[トラブルシュート](#)

[トラブルシューティングのためのコマンド](#)

[debug 出力例](#)

[関連情報](#)

概要

特定のダイヤルイン クライアントがネットワークに適切に接続するためには Windows Internet Naming Service (WINS)、またはドメイン ネーム システム (DNS) サーバ情報が必要です。さらに、アクセス サーバでのダイヤルイン クライアントへの IP アドレスの割り当てには、いくつかの異なる方法があります。

前提条件

要件

この設定を行う前に、次の要件が満たされていることを確認します。

- ルータが着信非同期コールと ISDN コールを受信できるように設定し、それを確認します。詳細については、「[着信の非同期コールおよび ISDN コールについて、PRI \(一次群速度インターフェイス\) の備わったアクセス サーバの設定](#)」で説明されている設定手順を参照してください。
- DHCP、DNS、および WINS サーバが正しく設定されていることを確認します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。注：この設定では、WINS、DNS、および

DHCPサーバが異なるサーバであると想定しています。実際には、これらを1台のサーバ上で実行することもできます。また、1台のサーバ上で WINS と DNS を実行して、DHCP は他のサーバ上で実行するなど、3つの機能をさまざまな組み合わせで実行できます。

使用するコンポーネント

この設定は、次の機器やデバイスを使用して開発され、テストされました。

- T1 PRI 回路を搭載した Cisco AS5200
- DNS サーバ
- WINS サーバ
- クライアントに IP アドレスを割り当てる DHCP サーバ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

関連製品

DNS、DHCP、および WINS の設定コマンドは、PPP コールの着信をサポートするあらゆるルータで使用できます。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景理論

クライアントに IP アドレスを割り当てるには、次のようないくつかの方法があります。

- アクセスサーバ上のローカル IP プールからアドレスを割り当てる。
- 外部のダイナミックホスト制御プロトコル（DHCP）サーバを使用する。
- Remote Authentication Dial-in User Service（RADIUS）または Terminal Access Controller Access Control System（TACACS+）を使用する。

この文書では、WINS および DNS サーバの情報を、アクセスサーバ経由でダイヤルインクライアントに渡すための手順について説明します。アクセスサーバは、外部 DHCP サーバから返された IP アドレスを、さらにダイヤルインクライアントに渡すことになります。

詳細については、関連情報のドキュメントを[参照してください](#)